

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町まつり
事業主体 (連絡先)	信濃大町まつり実行委員会 (長野県大町市大町 2511-3 大町商工会議所内)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,042,058円 (うち支援金: 2,392,000円)

事業内容

昨年、一昨年度に開催した「信濃大町まつり」では、ディズニーパレードや自衛隊音楽隊と松商学園高校トワリングバトン部によるパレード、キャラクターショーなどを開催し、多くの人出があり、商店街もかつての賑わいを取り戻し賑わいました。

今年度は、大町市で開催した「北アルプス国際芸術祭」のオープニング日に合わせ、信濃大町まつりを開催しました。2回開催した経験を生かし、魅力ある大町市を引き立たせるようなイベントが開催でき、中心市街地に人を呼び込む事ができました。一過性のものとせず、商店街の方とも一体となり多くのお客様を商店街に呼び戻し「人と人のふれあいあふれる街づくり」を通して、中心市街地の再生に努めていく。



【 イベント風景 】

【目標・ねらい】

- ①大町市内に人を呼び込み、賑わいを取り戻す。
- ②一過性にせず、継続してお客さんを呼び込めるイベントとする
- ③各商店が積極的に参加し、お互い協力できる関係づくり。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 信濃大町まつりの全体の来場者は3千人。昨年度と比べ規模を縮小して行ったが、家族向けのイベントで移動動物園を開園するなど工夫をして集客に努めた。
- お楽しみ抽選会を開催し、登録商店で買い物をしたお客さんが抽選会に参加した。今年度は、商店街で使える商品券を景品とし、多くのお客さんが抽選に訪れた。抽選会効果による登録商店の売上増額にも貢献できた。
- 北アルプス国際芸術祭のオープニングを同時開催し相乗効果として、市内商店街での買い物や、飲食なども楽しんでいただけた。

※自己評価 【 A 】

【理由】
多数のイベントを開催し、来客者を飽きさせることなく実施でき、市内各所に多くのお客さんが訪れ盛況であった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回で3回目となった「信濃大町まつり」は、『北アルプス国際芸術祭』のオープニングも同時開催し、多くのお客さんが訪れ盛大に行われた。当イベントで行った抽選会による商店街で使える商品券の発行で、おまつり後も継続して商店街などで再びお買い物していただける機会ができ、更に北アルプス国際芸術祭が7月30日まで開催されたことで、市内商店街などは多くの鑑賞客で賑わった。期間中に訪れたお客さんにまた来ていただけるよう、集客努力を続けていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある